

夢と未来のサポーター

ごあいさつ

日頃、皆さまには格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。本年も当金庫に対するご理解をより一層深めていただきたく、ディスクロージャー誌「SAWAYAKA SHINKIN REPORT 2023」を作成しました。ぜひ、ご一読くださいますようお願い申し上げます。

2022年度の世界経済は、コロナ禍から景気が回復に向かう中で需要が一時的に集中したことや、ロシアのウクライナ侵攻を契機とする食品・エネルギー・原材料価格の高騰等により、インフレが急激に進行しました。日本経済も、物価の上昇など事業者のみならず消費者も大きな影響を受けました。

また、新型コロナウイルス感染拡大に伴う行動制限は緩和され、当金庫の営業エリアでは、飲食業・サービス業等の業況は回復傾向にありますが、未だにコロナ前の水準には達していません。製造業や卸売業についても、エネルギー・原材料等の物価高騰により、多くのお取引先が影響を受けています。コロナ関連融資の返済も順次始まっており、厳しい経営環境が続いています。

このような状況の中、「第七次さわやか3ヵ年計画」の中間年度である2022年度は、新三位一体改革【意識改革、新戦略の実施、仕組みの変革】による持続可能なビジネスモデルのステップアップ、課題解決型営業の深化を最重要課題として取り組んだ結果、預金残高は1兆5,729億円、貸出金残高は9,018億円となりました。収益面では、経常利益は27億円、当期純利益は約20億円となり、自己資本比率は9.16%に向上しました。

今後は高齢化や事業所の減少などの構造的課題に加え、アフターコロナ下でのビジネスモデルの再構築、デジタル化、SDGs・ESG等への新たな対応が本格化することが予想されます。このような状況の中、当金庫は昨年10月に合併20周年を迎え、経営理念と行動指針を見直し、地域の方々のあらゆる課題に向き合い挑戦することを謳いました。いざという時に真っ先にお客さまの頭に浮かぶ金融機関となれますよう、役職員が笑顔と感謝を忘れずに一丸となって努力してまいります。

どうぞ、今後とも変わらぬご支援ご愛顧を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

2023年7月



理事長
篠 啓友

目次

ごあいさつ	1	個人のお客さまへの取り組み	17
経営理念・行動指針	3	SDGsへの取り組み	19
役員・組織図	4	トピックス	20
さわやか信用金庫の考え方	5	総代会	23
業績ハイライト	7	店舗一覧	25
法人・事業主のお客さまへの取り組み	9		

経営理念

さわやか信用金庫は
地域に根ざし
人々に寄り添い
中小企業とともに歩みます。

あらゆる課題に向き合い
あらゆる変化に挑み
明るい未来を創造します。

行動指針

私たちが大切にしたい **コンプライアンス** と **3つのS**



当金庫は、あらゆる課題や変化に挑戦し、常に感謝の気持ちと笑顔を忘れずに
地域の皆様のお役に立ち続ける金庫を目指します。

当金庫の概要 (2023年3月31日)

所在地	本部: 東京都大田区萩中2丁目2番1号 本店: 東京都港区三田5丁目21番5号	営業地区	東京都 23区、八王子市、立川市、武蔵野市、三鷹市、府中市、昭島市、調布市、町田市、小金井市、小平市、日野市、国分寺市、国立市、西東京市、 神奈川県 狛江市、多摩市、稲城市、横浜市: 鶴見区、神奈川区、港北区、緑区、青葉区、都筑区 川崎市: 全区 相模原市 (旧津久井町、旧相模湖町、旧藤野町、旧城山町を除く)
創立	1926年(大正15年)11月11日		
出資金	139億円		
預金量	1兆5,729億円		
融資量	9,018億円		
店舗数	63店舗(うち8出張所)		
店外ATM	15カ所		
役職員数	992名		

役員・組織図

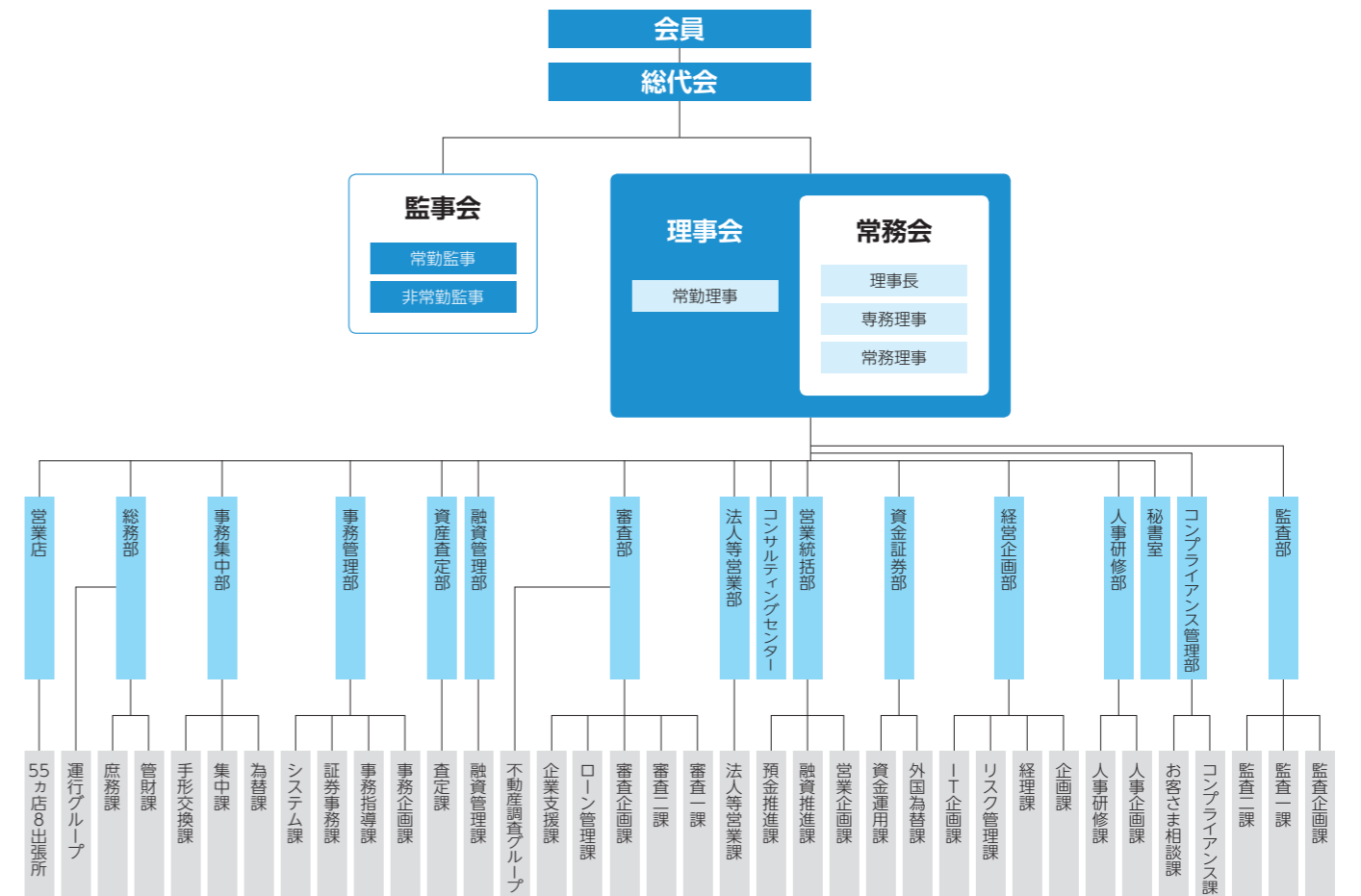
今後とも、さわやか信用金庫を宜しくお願いいたします。

役員一覧 (2023年7月1日)



※1 常務理事 其田修一は、信用金庫業界の「総代会の機能向上策等に関する業界申し合わせ」に基づく職員外理事であります。
※2 非常勤監事 廣田哲治は、信用金庫法第32条第5項に定める員外監事であります。

組織図 (2023年7月1日)



● さわやか信用金庫の考え方

経営理念および行動指針に基づき、お客さまが抱える課題を解決するために徹底的な伴走支援をしていくことを使命と考え、地域においてオンリーワンの金庫を目指していきます。この考え方を実現するために、当金庫では2021年度より「第七次さわやか3ヵ年計画」に取り組んでおります。

第七次さわやか 3ヵ年計画の最終目標

コア業務純益^{※1}… 50億円以上
OHR^{※2}…………… 75%以下
総資金利鞘^{※3}…… 0.20%以上
自己資本比率^{※4}… 9.00%以上

<用語説明>

- ※1 コア業務純益: 一時的な要因に左右されない基礎的な収益力を示す指標です。
- ※2 OHR (Over Head Ratio): 業務粗利益に対する経費の比率で、金庫業務の効率性を示す指標です。
- ※3 総資金利鞘: 「資金運用利回」から「資金調達原価率」を差し引いたもので、運用資金全体の収益力を示す指標です。
- ※4 自己資本比率: 出資金や内部留保(利益の積立額)などの金額を、貸出金等の各種資産金額にリスク・ウェイト(資産毎の掛け目・損失可能性の比率)を乗じて算出した金額(リスク・アセット)で割ったもので、経営の健全性・安全性を示す指標です。

第七次さわやか3ヵ年計画 (2021年度～2023年度)

取り巻く
環境の変化

少子高齢化、
人口減少

新型コロナウイルスの
影響

SDGs・
DXの進展



さわやか信用金庫

課題解決のために
徹底的な伴走支援



地域のお客さま

～お気軽にご相談ください～

第七次さわやか3ヵ年計画 新三位一体改革

～セカンドステージ～

1 意識改革
使命の認識と
環境変化への即応

2 新戦略の実施
課題解決型営業
地域 **No.1** を指向

3 仕組みの変革
持続可能な
ビジネスモデルのステップアップ

業績ハイライト

2023年3月期預金量

1兆5,729億円

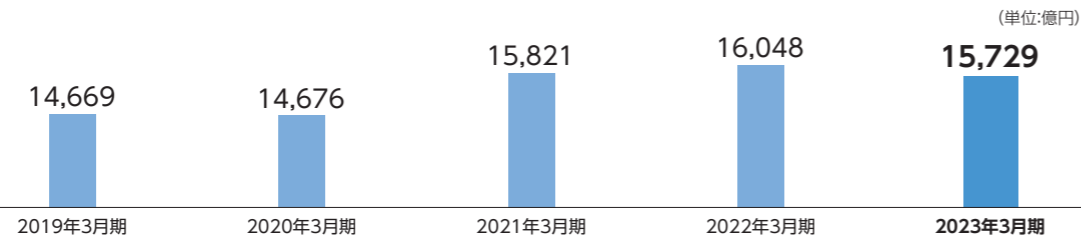
都内23信用金庫中 第8位
全国254信用金庫中 第25位

2023年3月期融資量

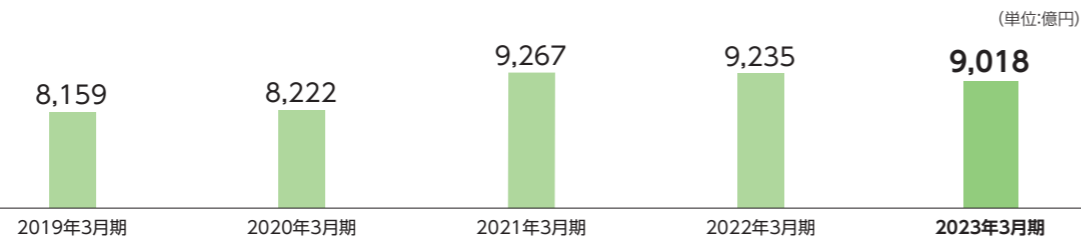
9,018億円

都内23信用金庫中 第8位
全国254信用金庫中 第22位

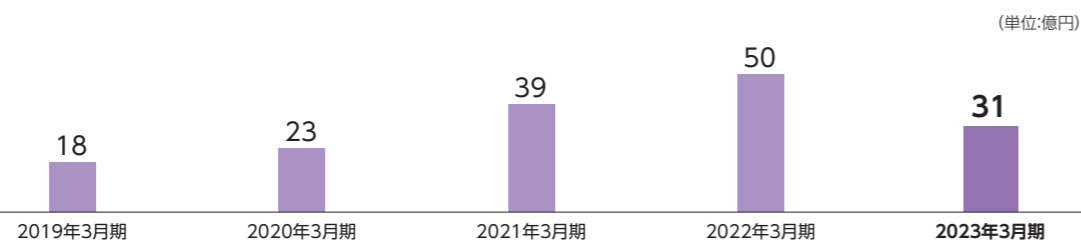
預金量



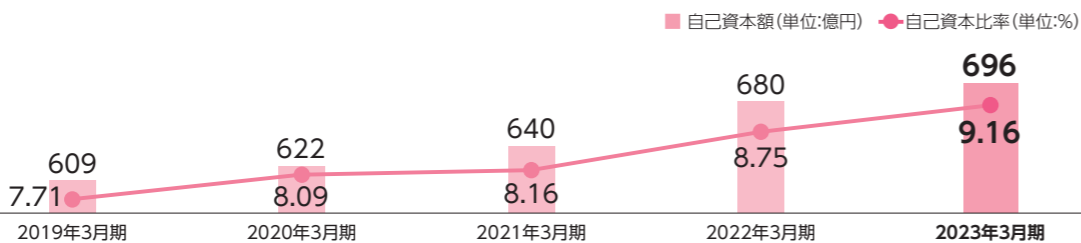
融資量



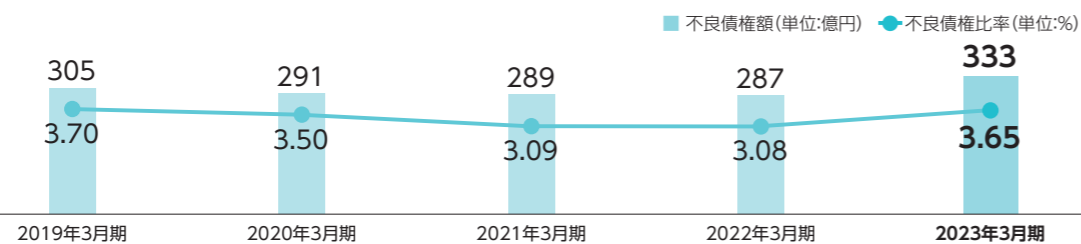
コア業務純益



自己資本額・自己資本比率



不良債権額・不良債権比率



貸借対照表

2023年3月31日現在 単位:百万円

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預金	14,837	預金積金	1,572,975
預け金	446,001	当座預金	64,618
有価証券	313,569	普通預金	815,768
国債	54,596	貯蓄預金	7,362
地方債	99,851	通知預金	2,322
社債	82,254	定期預金	640,411
株式	3,835	定期積金	33,174
その他の証券	73,032	その他の預金	9,317
貸出金	901,815	借入金	62,647
割引手形	6,042	借入金	62,647
手形貸付	39,658	コープマネー	400
証書貸付	846,085	外国為替	25
当座貸越	10,029	未払外国為替	25
外国為替	638	その他の負債	5,417
外国他店預け	638	未決済為替	710
その他資産	10,169	未払費用	420
未決済為替	645	給付補填備金	18
信金中金出資金	6,316	未払法人税等	380
未収収益	2,030	前受収益	384
金融派生商品	54	払戻未済金	259
その他の資産	1,122	職員預り金	616
有形固定資産	15,910	金融派生商品	953
建物	5,252	リース債務	752
土地	9,479	資産除去債務	49
リース資産	707	その他の負債	872
その他の有形固定資産	471	賞与引当金	658
無形固定資産	624	退職給付引当金	271
ソフトウェア	216	役員退職慰労引当金	338
リース資産	17	睡眠預金払戻損失引当金	81
その他の無形固定資産	390	偶発損失引当金	218
繰延税金資産	4,701	再評価に係る繰延税金負債	1,004
債務保証見返	8,748	債務保証	8,748
貸倒引当金	△3,986	負債の部合計	1,652,787
(うち個別貸倒引当金)	(△2,672)	(純資産の部)	
		出資金	13,944
		普通出資金	13,944
		利益剰余金	55,228
		利益準備金	11,301
		その他利益剰余金	43,927
		特別積立金	16,651
		(固定資産圧縮積立金)	531
		(その他の目的積立金)	6,177
		当期末処分剰余金	27,275
		処分未済持分会社	△0
		会員勘定合計	69,172
		その他有価証券評価差額金	△9,273
		土地再評価差額金	342
		評価・換算差額等合計	△8,930
		純資産の部合計	60,242
資産の部合計	1,713,029	負債及び純資産の部合計	1,713,029

損益計算書

2022年4月1日から2023年3月31日まで 単位:百万円

科目	金額
経常収益	21,429
資金運用収益	18,138
貸出金利息	14,219
預け金利息	554
有価証券利息配当金	3,195
その他の受入利息	170
役員取引等収益	1,875
受入為替手数料	906
その他の役員収益	969
その他業務収益	511
国債等債券売却益	43
金融派生商品収益	378
その他の業務収益	88
その他経常収益	903
償却債権取立益	152
株式等売却益	736
その他の経常収益	14
経常費用	18,690
資金調達費用	331
預金利息	181
給付補填備金繰入額	3
借入金利息	130
コープマネー利息	12
その他の支払利息	3
役員取引等費用	774
支払為替手数料	199
その他の役員費用	574
その他業務費用	2,894
外国為替売買損	1,987
国債等債券売却損	890
その他の業務費用	16
経費	14,300
人件費	8,627
物件費	5,104
税金	569
その他経常費用	389
貸倒引当金繰入額	115
貸出金償却	140
株式等売却損	27
その他資産償却	0
その他の経常費用	104
経常利益	2,739
特別利益	4
固定資産処分益	4
その他の特別利益	0
特別損失	58
固定資産処分損	58
税引前当期純利益	2,685
法人税、住民税及び事業税	605
法人税等調整額	84
法人税等合計	689
当期純利益	1,995
繰越金(当期首残高)	25,276
圧縮積立金取崩額	3
当期末処分剰余金	27,275